

令和6年度 全国学力・学習状況調査について

全国的な生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の検証・改善や、学校における生徒への教科指導の充実や学習状況の改善等に役立てる目的で、令和6年4月18日に第3学年生徒を対象として国語・数学で実施しました。以下はその結果をまとめたものです。

1 本校の生徒の学力状況の概観

今年度の本校の全国学力・学習状況調査では、国語・数学ともに、全国の平均正答率を上回る結果となりました。学習内容の基礎・基本を着実に定着させることについては、授業における問題練習や、家庭学習の推進など、日常の学習指導の取組について、一定の成果があったものと捉えています。

しかし、成果となっている項目の中にも、全道・全国平均は上回っているものの、校内的に見ると、「思考・判断・表現」を問う問題には、一定数の誤答や無解答があり、苦手意識を抱いている生徒が存在することも事実です。

今後は更に、個々の学習状況を的確に把握しつつ、「物事を多角的に捉え、学びを深めることができる生徒の育成」を目指し、「深い学び」を体感できる授業や、「生徒の発問から展開していく」授業となるよう改善に努め、一層の学力の向上に努めてまいります。

2 各科目の分析結果と課題及び改善の方策

【国語】 全道平均・全国平均を大きく上回っている

〈成果〉

- 知識・技能を問う問題の正答率が高い。
 - ・文脈に即して漢字を正しく書くことができる。
 - ・意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。
- 思考・判断・表現を問う問題の正答率が高い。
 - ・目的や意図に応じて必要な情報に着目して要約することができる。
 - ・主張と例示との関係を捉えることができる。

〈課題〉

- ▲自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。

〈改善の方策(国語)〉

- 集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることに課題があることから、観点に沿って比較、分類、関係付けする活動の充実を図る。
- 詩歌に対して文言を踏まえ想像する力が伸長できていないことから、言葉を手掛かりにしながら文脈をたどることができるように、言葉の特徴や使い方に関する知識技能の定着を図る。
- 問題全体を通して、解答類型外の誤答が少なかったことから、今後も、問題文の理解や解答方法についての指導を継続して指導していく。

【数学】 全道平均・全国平均を大きく上回っている

〈成果〉

- 知識・技能を問う問題の正答率が高い。
 - ・「数と式」「図形」「関数」「データの活用」全領域を理解することができる。
- 思考・判断・表現を問う問題の正答率が高い。
 - ・目的に応じて式を変形し、事柄が成り立つ理由を説明することができる。
 - ・データの傾向を分析し、判断の理由を数学的に説明することができる。

〈課題〉

- ▲等式を目的に応じて変形したり、筋道を立てて考え証明したりする。

〈改善の方策(数学)〉

- 毎時間の復習問題に取り組む時間の確保、ICTを活用して復習プリントを配信するなどの工夫を行い、基礎基本の定着を図る。
- 「説明」を苦手としている生徒が多いことから、通常の授業において説明する場面を位置付け、説明の場面（「事柄・事実の説明」、「方法・手順の説明」、「理由の説明」）に応じた指導を行う。特に、図形の証明場面においては、例えば、①口頭で説明する、②穴埋め問題を解く、③記述形式で証明する等の段階を経た指導を行う。
- 定期テストにも、説明の問題を位置付けることで、生徒の学習状況を把握し、指導の改善に生かす取組を行う。

【全教科を通じて取り組むこと】

○知識・技能の確実な定着

- ①単元ごとに振り返りの時間を設定し、既習事項の学び直しをする。
- ②復習プリントやミニテストなど、毎回の授業で繰り返しの練習をする。

○思考・判断・表現を伸ばす場面設定

- ①自分の考えをまとめ、説明したり、表現したり活動を設定する。
- ②自分の考えを導くまでの過程や理由について考えさせる場面を設定する。

○学習スタイルの確立

- ①「前時の復習→課題設定→解決（個・グループ）→まとめ→定着」のような課題解決学習の授業スタイルを確立していく。
- ②話し合い活動のルールやスキルを共有し、コミュニケーション能力が高まる環境や雰囲気づくりを行う。

○更なる学力向上を目指して

- ①授業アンケートや学校評価など客観的な資料を分析し、改善点を明確にし、学期ごとの短いスパンで見直しを進めていく。

3 生徒質問調査の分析結果と課題及び改善の方策

〈全道・全国の割合よりも高い〉

- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれている。
- 人が困っているときは、進んで助けている。
- いじめはどんな理由があってもいけない。
- 人の役に立つ人間になりたい。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しい。
- 友達関係に満足している。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。
- 国語・数学ともに、「勉強は大切だ」と感じている。

〈全道・全国の割合よりも低い〉

- ▲朝食を毎日食べている。
- ▲新聞を読んでいる。
- ▲1・2年のとき受けた授業で、PC、タブレットなどのICT機器を使用している。
- ▲学習の中で、タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う。
- ▲学習した内容について、次の学習につなげている。
- ▲国語・数学ともに、「教科の勉強が好き」と感じている。

〈改善の方策(生徒質問調査)〉

- 家庭と協力し、望ましい生活習慣と学習習慣を確立させる。
- 生徒指導の視点を生かした教育活動を推進していく。
- 校内研究において、ICT機器の効果的な活用について研修を行い、授業で効果的に活用する。
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、生徒が「分かる」授業を行い、学習に対する意欲を向上させる。